

ごあいさつ

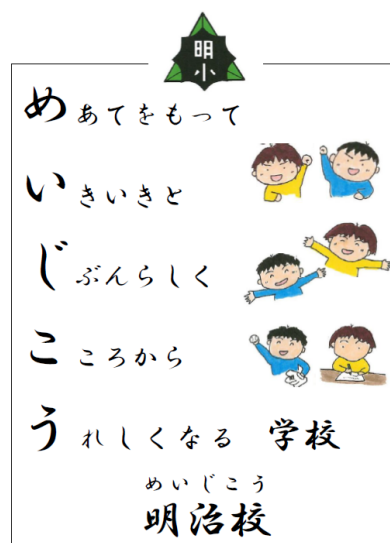
令和7年4月に赴任しました校長の中村昌彦です。令和8年度は、新入生8名、転入生1名を迎え、全校生39名でスタートしました。

山形市立明治小学校は、明治24年（1891年）6月に「東村山郡明治尋常小学校」として設立され、現在の名称になったのは昭和29年（1954年）10月です。今年度は創立135周年となります。

今年度の学校教育目標は、若干文言を換え「郷土を愛し、仲間と共に、夢をもって生きる子どもの育成」としました。そのために目指す学校像は「子どもも、教職員も、保護者・地域も『たのしむ』学校」です。「たのしむ」には「楽しむ」と「愉しむ」があります。前者は「受動的、得られる喜び」であり、後者は「能動的、生み出す喜び」という意味で用いられています。くしくも令和7年度から国の「第4期教育振興基本計画」を受け、山形県では「第7次教育振興計画」が策定・スタートしました。その目標は「ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり」。まさに、本校が目指す学校像は「たのしむ」⇔「ウェルビーイング（身体的・精神的・社会的にすべて満たされた状態を継続できること）」にもつながると捉えております。

また、本校では「めあてをもって いきいきと じぶんらしく」を合言葉にして令和7年度は取り組んできました。今年度は、校歌の3番目の歌詞にある「明治校」にかけて、これに「**こ**ころから **う**れしくなる」を付け加え、更なる「ウェルビーイング」を目指します。

これからの明治地区を支える子ども達の人材育成につままして、保護者・地域の皆様のご理解・ご協力のもと、本校教職員が一丸となり「チーム明治」を合言葉に精進していくことをお誓い申し上げ、ご挨拶いたします。



山形市立明治小学校